

フードサプライチェーンにおける脱炭素化の「見える化」の推進

- フードサプライチェーン全体での脱炭素化の実践と、その「見える化」を進めるため官民で食品産業における取組について議論。
- 農林水産省では、令和5年度に加工食品共通のCFP（カーボンフットプリント）算定ガイド案の妥当性の確認、課題の抽出のための実証を行い、**算定ガイド案と実証結果を公表（令和6年8月）**。
- 加工食品共通のCFP算定・表示ルールの方針、実現方法について、引き続き官民で検討し、算定ガイドをとりまとめ。

・官民での協議体

温室効果ガスの見える化作業部会

加工食品にかかる環境コミュニケーションを検討するタスクフォース
目的：加工食品についてのコミュニケーションの在り方を議論

加工食品共通のCFP算定・表示

CFP算定・表示ルールの方針、実現方法の検討

参加企業

食品製造事業者

流通・小売事業者

等

関係省庁

農林水産省

環境省

・加工食品共通のCFP算定ガイド案

食品関連事業者を中心に、CFP算定を行う際に参照できる定義や考え方を業界の自主算定ルールとしてまとめたもの

ポイント

- ・算定単位・粒度
- ・ライフサイクルステージ・対象プロセス
- ・カットオフの考え方
- ・1次データ、2次データの取扱い等を規定

加工食品共通 CFP 算定ガイド案

持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議
温室効果ガスの見える化作業部会 CFP 算定ガイド検討チーム
2023年12月

・CFP算定実証

令和5年度に算定実証を行い、ガイド案の妥当性を確認し、課題等を抽出。令和6年度も継続して実施予定。

参加企業
(五十音順)

イオン株式会社

株式会社セブン&
アイ・ホールディングス
株式会社イトーヨーカ堂

明治ホールディングス
株式会社

AEON

7-Eleven

meiji

商品名

キャノーラ油ハーフ
(500g)

明治おいしい牛乳 (900ml)

製品名称

食用なたね油

牛乳

製品
イメージ



詳しくはこちらを
ご参照ください。



官民の協議体で提案された加工食品共通の算定ルールのあり方

- ・小規模な事業者にも分かりやすく、取り組みやすいルールとすること
- ・なるべく低コストかつシンプルなアプローチであること
- ・カーボンフットプリントガイドラインなど、国内/国際的なルールに整合していること

※CFPとは・・・製品やサービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出されるGHGの排出量をCO2排出量に換算したもの